

1. 開催年月日 令和7年1月23日
2. 開催場所 三原駅前スペースキオラスクエア内サテラス
3. 委員出席
 委員総数 7名
 出席委員数 6名
4. 議題
 ・局からの近況報告
 ・番組審議について
5. 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの報告

「パーソナリティについて」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局「FMみはらは『モーニング』『イブニングスペシャル』この2番組を、毎週月曜日～金曜日の朝・夕方に2時間生放送している。現状、『モーニング』3名、『イブニングスペシャル』7名で各曜日を担当している。その中で、『モーニング 金曜日』『イブニングスペシャル 水曜日』を担当している山本真紀が1月末で退職する。退職に伴い、2月以降は『モーニング 金曜日』は小川瑞恵、『イブニングスペシャル 水曜日』は行廣紅里が担当する。

これまでFMみはらは、放送経験者やイベント・冠婚葬祭などの司会者をパーソナリティとして採用してきたが、放送経験者が地方で少なく、また、コロナ禍で司会業をしていた人が激減した。その為、経験がなくても、話がうまい人をパーソナリティとして育てる必要がある。しかし、『モーニング』『イブニングスペシャル』この2番組は、ニュース・天気予報・交通情報を読むため、話す間や発音などテクニックを要する。また、急な防災対応が可能である事を条件とすると、広島市や福山市など遠方からの採用も出来ない。経験があり、自宅が会社に近く、三原をよく知っている人を採用したいが、なかなか条件がそろう人材がいない。

2月・3月は人数的に少ない状況での運用となるが、リスナー・スポンサーに迷惑をかけないように放送していく。」

A 氏「募集方法は、どのように行っているか？」

事務局「MJ(みはら情報局)とFMみはらホームページに募集要項を掲載している。」

B 氏「地域で専門性がある人材を探すのは難しい。」

C 氏「MCATアナウンサーは、朝早い生放送がない。岡山など遠方からの採用も検討している。同業者と意見交換しても、尾三地域は人材が少ないと言われている。」

A 氏「収入的に、司会業やアナウンサー業のみで尾三地区を拠点にして活動することは難しいのではないか。仕事が少ない。」

第一号議案「番組審議」

番組名：おだしずえのミュージックブック

出演：おだしずえ

事務局「パーソナリティのおだしずえは、大学生時代に広島でラジオDJをはじめた。主にFM局の番組でパーソナリティを担当していた。また、アニメ『こどものおもちゃ』の声優を担当したことでも知られる。現在は、『アインシュタインの出演！ひな壇団』のナレーションを担当している。

過去には、ユニコーン 奥田民生さんとのラジオ『しーとたみおのレッツ・ゲット・トゥゲザー』や東京で昼の帯番組『アフタヌーン・ブリーズ』に出演した。また、書籍『ローカルラジオスター』では、中国地区代表のラジオパーソナリティとして、ラジオパーソナリティが語る地方やラジオの可能性について執筆した。

『おだしずえのミュージックブック』は、大和町のスマイルラボにスポンサーを依頼し、12月からスタートした。出演者はおだしずえ1人で、過去の経験・人脈を基にワンマントークをして曲紹介を行う内容とした。また、番組後半には、スマイルラボの紹介コーナーを設けた。」

A 氏「何か質問や意見はあるか？」

B 氏「おだしずえの起用が、FMみはらの刺激になり、ミキサー技術の向上につながればよい。」

事務局「音楽のかけ方にこだわりがある。勉強していきたい。」

C 氏「ローカル感がない番組になっている。近隣の局でも放送してもらえばよいのではないか。」

B 氏「番組を続けることが大事である。」

事務局「スポンサーのスマイルラボは大和町にあり、商圈として県内全域をターゲットとしている。おだしずえは呉の観光大使を担った実績があり、影響力があると考えている。」

第二号議案「ご要望について」

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・必要にあわせて今後の審議会の中で対応したことについて発表する。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法：事務所への備置き ホームページでの公開

公表の内容：議題、議事の概要および審議内容

公表年月日：令和7年1月31日

9 その他参考事項